

「松浦武四郎と新冠」講演会

- 松浦武四郎の人物像とは…
- 蝦夷地探検について…
- 新冠と松浦武四郎のかかわり…
- 「北海道」命名の経緯…

今年「北海道」と命名されて150年を迎えています。
これにちなみ、「北海道の名付け親」松浦武四郎と新冠の関わりをテーマに講演会を開催します。
どなたでも参加できます。ぜひお気軽にご来場下さい。

☆とき 11月18日(日) 13:30～15:30

☆ところ 新冠町レ・コード館 シアター

☆入場料 無 料

☆講師 北海道博物館 学芸主幹
三浦 泰之 氏

江戸時代以降における北海道の歴史や文化を専門に調査研究を行う。近年は松浦武四郎の研究を進め、特に今年北海道150年にちなみ、各方面で松浦武四郎にまつわる講演活動をおこなっている。

☆お申込み・お問合せ

講演会に参加希望の方は、新冠町郷土資料館まで、電話でお申込み下さい。

TEL0146-47-2694 11月15日申込期限

お知らせ

レ・コード館図書プラザにおいて、読書週間の取組みとして「松浦武四郎や北海道」に関連する書籍コーナーを開設いたします。10月27日から開設しますので、ぜひご覧になって下さい。

松浦 武四郎

1818(文化15)年、伊勢国(現在の三重県)に生まれる。1845年(弘化2)年、28歳の時に蝦夷地を渡り、以来、計6度探検する。1869年(明治2年)には、開拓判官の職につく。蝦夷地を「北海道」とするよう提言した人物として知られている。

○主催：新冠町教育委員会

○講師協力：北海道博物館

